



**上野三碑がユネスコ「世界の記憶」に登録されて1年。**市では、その価値を広く知ってもらうため、企画展や講演会を開催したり、三碑を巡る無料のバスを運行したりしています。また、三碑を守り後世につないでいくために欠かせないのが、市民の力です。今回は、三碑を支える地域のボランティアや市民団体、県外から見学に訪れる歴史愛好家といった皆さんをお迎えしお話を伺います。



**吉井 幸久さん**  
上野三碑をつなぐ会で理事を務める。会では三碑の動画制作や各種イベントを開催するなど、新しい視点からPR活動を行う



**川名 恵美さん**  
埼玉県立歴史と民俗の博物館のボランティアを務める。古墳巡りをしたり神社検定1級を取得したりと、歴史文化への造詣が深い



**森 賢六さん**  
市民公募で平成28年に発足した上野三碑ボランティア会の会長を務める。会では三碑周辺の環境整備や見学者への解説を行う



**富岡 賢治市長**  
1,300年守り継がれてきた上野三碑を次代へとつなげていくため、さまざまな視点から取り組みたいと考えている



# 上野三碑の価値と魅力

## 市民のチカラで守り、そして次代にツナグ



**市長** 上野三碑がユネスコの「世界の記憶」に登録されて10月31日で1年になります。多胡碑をはじめ、3つの碑は、地域の人たちに大切にされてきたものです。東方の小さな島国に西方からの文明が、争いも無く受け入れられ、日本の文化として発展してきた証が現在に伝えられているんですよ。

**森** そうですね。古墳時代から仏教文化の時代に造られた三碑からは、1300年以上前に、多民族による共生社会が成り立っていたことが分かれます。当時は、アジア大陸との国際交流が盛んだったんですよ。

**市長** こうした歴史的な背景がある碑を地域の皆さんが今に守り伝えていくことや、関係者の皆さんの努力があった登録となりました。守り伝えるという点では、戦後、進駐軍に接収されないように多胡碑を埋めて隠し守ったという、教科書に載せたいくらいの話もあります。

**川名** 私もその話を聞いた時に感動しました。

**森** 「お羊様」といって昔から地域で大事にされてきましたから。

**市長** やはり文化財としての価値以上に地域の人たちにとって重みのあるものだったんでしょうね。吉井さんは碑の価値についてどう思いますか。

**吉井** 私の実家のそばに金井沢碑があったんですが、あまりに身近すぎて正直その価値に気付いてなかったんで動画を撮ってYouTubeなどで配信。2つ目は「ははおもひ」というイベントです。これは山上碑が母のために建てられたことにちなんで母の日に開催しました。碑の前で母親への思いを語ってもらおうというものです。今年亡くなったお母さんへの感謝の言葉を表した方もいらつしゃって。山上碑に刻まれた思いは、現代でも変わらないんだと感動しました。3つ目は9月に開催した「たごひきつづふえす」という子ども向けのイベントです。タゴヒクエストというゲームやオリジナルの紙芝居で多胡碑に親しんでもらおうというもので、たくさんの子どもが参加してくれましたね。

**川名** それぞれの世代に合わせたアピールの仕方を考える視点が良いと思います。

**森** 参加した子どもたちが生き生きとしていましたね。あの子どもたちが大人になったとき、自分の子どもを連れてきて碑の話をしてくれるんじゃないか、

### 「上野三碑」その価値とは

すね。世界の記憶に登録されて「そんなにすごいものなのか」と驚きました。それで改めて勉強しましたね。

**市長** そうですか。今は若い人たちが集まって三碑を盛り上げようと一役買っていただいていますね。県外に住まいの川名さんは上野三碑にどんな印象をお持ちですか。

**川名** 旅が好きで、以前トルコのイスタンブールから中国大陸の東側までシルクロードツアーというバスの旅をしたことがあります。その先の海を渡ると日本にたどり着くわけですね。今度は奈良に興味を持っていろいろと巡りました。西日本だけじゃなくて関東にも大陸の香りを示すものがないかと探していて目に留まったのが多胡碑だったんです。多胡碑に「胡」と「羊」の文字があるところに興味を持ちました。もともと胡は西から来たものを示



来訪者へ解説するボランティアの会

なんて期待が持てる催しでした。ね。

**吉井** ありがとうございます。

**市長** 次代につなぐためには、やはりパンフレットのような読み物だけではなく、いろんな手法が必要ですよ。



子どもたちが夢中になった「タゴヒクエスト」

**市長** 私は三碑の静かな雰囲気を残すことが大事だと考えています。派手なものを作らない「静かな史跡」というのはむしろトレンドじゃないかと。例えば世界遺産になると初めの年は100万人以上来て、2年目は70万人とだんだん減っていくケースが多いです。そうじゃなくて最初から10万だったとしてもそれでいい。本当に感性のある人たちが一定数継続して来てくれるようにする方がいいと思うんです。来てくれる人たちが何を望んでいるのかを考えていくことが大事です。

**森** そうですね。そういう人たちを受け入れるボランティアの輪も広がってほしいと思います。トイレや木道も整備していただいてあげたいです。

**市長** 歴史を学びたい志のある人やお年を召したご夫婦が静かに散策できるような雰囲気を残したい。だからアクセス道などもコンクリートじゃなくて木造りの歩道にしました。

**川名** 歩きやすくて風情がありますね。紅葉の季節なんて散策にちょうどいい感じですよ。

**市長** うれしいですね。この辺りは観音山丘陵になりますが、上野三碑から白衣観音、鼻高展望台の丘まで、時間

す字ですし、羊は日本にいなかった動物です。大陸文化が朝鮮半島、奈良の都を介してこの地に来たんでしょう。当時は東アジアが太いパイプでつながっていたんですよ。

**市長** 現代でも国際情勢は難しいところがありますが、1300年も前にこの地で多民族・多文化共生社会を実現していたというのはすごいことです。

### 次代にツナグ市民のチカラ

**市長** 上野三碑ボランティア会や山上碑・金井沢碑を愛する会、上野三碑をつなぐ会など、多くの市民の皆さんが活動してくれています。

**森** ボランティア会では、現在おおよそ70人が碑の解説や清掃などの活動をしています。また愛する会は、南八幡地域の皆さんが主体となって湯茶などで碑を訪れた人たちをもてなしてくれているんですよ。

**市長** 皆さんで汗を流してくださって本当にありがたいですね。碑を解説するのにぜひぶん勉強もなさっているのだとか。

**森** この間、飛行機で福岡から来た人もいたんです。皆すっかり聞いてくれるので、その期待に応えなくちゃなりませんから一生懸命ですよ。

**市長** 吉井さんのつなぐ会は、次の世代に三碑をつないでいくために、若い人たちが中心となって活動しているんですよ。

**吉井** はい。今年は3本立てで取り組んでいます。1つ目は三碑のPR

はかかりますが、遊歩道を整備して、自然を楽しめる史跡巡りの場にしようと考えています。

**吉井** 「ははおもひ」のときも遊歩道をハイキングしている人たちが立ち寄ってくれましたよ。

**川名** 今は海外からの観光客も増えていますが、高崎の距離感だと泊2日で巡るのがちょうどいいです。半日は三碑、そのほかは観音様やお寺を巡るコースを私は友達にも勧めています。

**市長** なるほど。高崎駅から上信電鉄を利用して訪れる人々には、吉井や山名の駅から10人乗りの上野三碑めぐりバスを無料で運行しているのですね。利用してもらいたいですね。将来的には三碑をミュージカルや演劇にしたいと思っていますよ、吉井さん。

**吉井** そうですね、興味を持ってもらうきっかけになりますし。好評だった今回のイベントなどを継続しながら考えていきたいです。

**市長** 地域に守られてきた上野三碑を次代へとつなげていくために、今後とも皆さんのご協力をお願いします。本日はありがとうございます。